

# LD等や学習に苦戦する子への 適切な学習教材を 選ぶための つまずきの見方

参加費  
無料

オンライン  
開催

2021 **2/28** 日 13:30～16:00

第1部	学習支援の地図 小貫 悟	明星大学発達支援研究センターが基礎理論とする学習支援の概念図をわかりやすく紹介する。これを「地図」と呼ぶのは、支援者自身が学習に苦戦する個々の子どもへの支援の方向と位置を把握するのに便利だからである。
第2部	教材作りの方法 林 真理佳	第1部で紹介した「学習支援の地図」を使って、教材を作っていく方法を紹介する。一つ一つの教材はどのような意味を持ち、どこに導こうとしているのかをわかりやすくお伝えしたい。
第3部	LD-SKAIP を使う 小笠原哲史	日本 LD 学会が開発した LD-SKAIP という学力アセスメントの道具がある。この中の一部は「学習支援の地図」をベースに作られたものである。このツールによる支援の方法を紹介する。

- 開催形式：Zoom ウェビナー形式で開催します。
- 定 員：300名（申込先着順）
- 申込締切：2月21日㊥
- 対象者：LDをはじめとする学習に苦戦する子の支援に関わる方（専門家・保護者等）
- 講 師：小貫 悟

明星大学心理学部心理学科教授。博士（教育学）、公認心理師、臨床心理士。専門は発達障害への心理教育的対応。最近の研究テーマは「授業のユニバーサルデザイン」。

#### 林 真理佳

臨床心理士。明星大学発達支援研究センター研究員。公立小学校非常勤講師等を経て、2018年から現職。「LD-SKAIP」ステップⅢ読みの課題を作成。文部科学省委託の2017・2018年度「学習上の支援機器等教材活用評価研究事業」主担当。

#### 小笠原哲史

公認心理師、臨床心理士。明星大学心理学部非常勤講師、スクールカウンセラー。特別支援教育士資格認定協会理事、S.E.N.S.-SVとして、iPadを用いた学力アセスメントツール「LD-SKAIP」の開発を担当。

**参加申込** 本学ウェブサイトよりお申し込みください。

**参加受付開始 2020年12月11日金 10時**

<https://form.hino.meisei-u.ac.jp/hattatsu/symposium/>



- ・参加申込をして頂いた方にウェビナー参加登録用URLをお知らせします。
- ・パソコン・スマホで全国どこからでもご参加頂けます。
- ・インターネットの通信費は参加者のご負担となります。